

■ 議長記者会見概要

日 時：平成27年3月18日（水）15：40～16：00

場 所：県政記者クラブ（県庁内）

出席者：山下力議長、井岡正徳副議長



井岡正徳副議長

山下力議長

〈案件〉

（1）2月定例県議会閉会にあたって

2月定例県議会が本日無事に終了いたしました。私事ですが、4月29日の任期をもって、県議会を引退することにいたしました。8期32年間の実に長きにわたる議員生活でしたけれども、おかげさまで思い残すことはなんらございません。清々とした気分でございます。

特に、直近に、私と井岡議員で議長と副議長を2年連続で務めました。2年連続で、しかも同じ選挙区から議長と副議長が選出されることは、奈良県議会史上でも、他の都道府県でも極めて珍しいことだと言われています。そういう珍しい事例での正副議長でございますが、なんとかつつがなく任務を果たしてきたのではないかと考えています。

（2）議場コンサートについて

議場コンサートを2月23日の定例県議会開会日に行い、今年で3年目でした。激しい言葉でやりとりする場面もある議会でございますので、心静かにコンサートのような文化の薫りを差し挟むのも悪いことではないとのことで、始められたものですが、傍聴席はいつも満員近くになって好評でございます。

また、2年後の平成29年度には奈良県大芸術祭に併せて、「国民文化祭」が開催されます。県は、これまでムジークフェストなどに力をいれてきましたが、議会もさまざまな県の催事に唱和して対応していけたらと思っております。

(3) 特別委員会調査報告について

本日の本会議において、特別委員会の各委員長から調査報告を行いました。なぜあんな長い報告を行っているのかですけれども、特別委員会は2年ごとに区切りをつけており、委員も替えないでやっています。だから、議場で2年間の特別委員会の調査報告をきちんとするという事になっています。調査報告書は、今後の議会での討議資料としても立派に使えるものだと、自負しております。本日の特別委員会の報告はながながとしたものでございましたけれども、たいへん意味のある取り組みになっていると思いますので、どうかご照覧いただいてご意見をいただければと思います。

(4) 採択された意見書について

今定例会では3つの意見書が採択されました。

意見書第1号は造血幹細胞移植の一元的運用の推進を求めるもので、骨髄・末梢血幹細胞提供の幹旋事業は日本骨髄バンク、さい帯血供給事業は「さい帯血バンク」が担っており、患者は二つの機関に登録しなければならないなど不便があり、それを統一的に運用できればという問題提起であります。

意見書第2号は介護報酬削減を見直し、介護従事者の処遇改善を求めるものです。福祉施設の運営経費が削られました。国は、一方で人件費はかさ上げしてあるというのですが、運営がしんどくなったら人件費の削減に及ぶので、ちぐはぐではないかということで、運営費の評価下げを見直すようにという意見書でした。

意見書第3号は「女性が輝く社会」の実現に関するものです。女性が輝く社会の実現は、安倍内閣の看板行政課題の一つであります。それについて、県もかなり力をいれてきました。しかし、県の幹部職員の登用等については、かなり前進をしたようですがまだまだという状態です。新しい議員の皆さんの検討課題の一つとして重視していかなければならないと思います。

特に、統計上では奈良県は女性の就業率が全国一悪いということですが、奈良県の白物家電の製造工場が中国に移った時から、女性の働く場がなくなっており、これは奈良県の大阪や関西圏との立地上、ずっと抱えてきた課題です。この懸案の課題解決に向けて、新しい県政がどういう施策の方向を出すのか注目していきたいと思います。

〈質疑応答〉

記者；長い議員生活で心にのこっていることはありますか？

議長；オンブズマンが政務活動費についていろいろ問題提起をしました。議員報酬も含めてすべて公金であるため、その使い道を明らかにすることについて、議会や議員個人が省みるようになったと思います。先進的な議会が行っているインターネットでの領収書の公表については、まだまだだと思いますけれども、新しい課題になると思います。

報道関係者やオンブズマンに対して、議員からも自分たちの政治活動にかかる経費について問題を提起し、論議したらいいのではないか。論議をしながら、自分らの立場を主張していけばいいのではないか。このような意見が各会派の代表者で構成される各派連絡会では出されています。よい傾向かと思います。

それから、毎年1月に行われる若草山の山焼きについて、知事室を屋上とともに公開しています。知事室は観光業者に公開したのに対して、今年から、議長室・副議長室を車いすで生活される障害者に開放しました。来場者を20組に制限したのですが13組、付き添いが2人～3人ずつで、50人以上の人たちにきていただき、「山焼きがこんなに美しかったのははじめてだ。」と、大概感動して帰ってもらいました。

これは来年も当然続けていってくれるものだと思いますので、是非来年も応募者がたくさんあるよう議会のそうした取り組みも注目していただきたいと思います。

記者；引退後はどう過ごされる予定ですか？

議長；差別・人権問題が私の生涯にわたるテーマです。これまで議会の仕事がいろいろあったので、集中できていないのですが、例えば、テロリストによるフランスを中心とする報道関係に対する襲撃は、ヨーロッパの原理主義とイスラムの原理主義がぶちあたった問題だと思います。また、その背景に、失業と移民の問題が絡んできて混乱が起こっています。差別と人権についてももう少し時間をかけて調べてみたいと思っています。